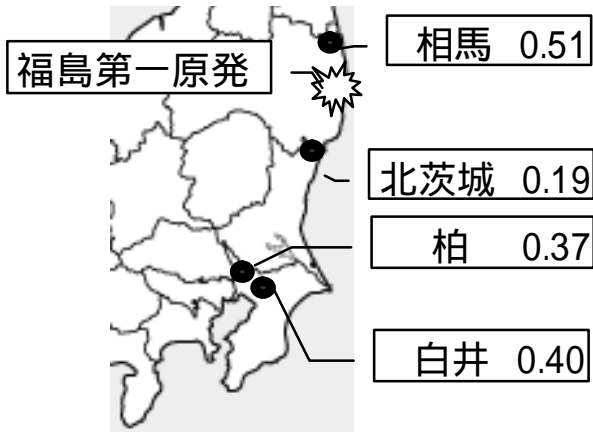


子ども達を放射線から守ろう

1 白井市は放射線量が高い（ホットスポット）

(1) 校庭の放射線

白井市では6月から学校などの放射線量を測っています。白井市は福島原発から200kmですが、70kmの北茨城市より高い値がでています。これは、3月15日に放射能雲（プルーム）が白井市に来た影響や雨が降った影響と考えられます。



場所	放射線量 [μSV/h]	備考
相馬市 大野幼小	0.51	7月5日 地上50cm 校庭7箇所平均
北茨城市 中郷第1小	0.19	6月24日 地上50cm
柏市 柏第1小	0.37	7月4日 地上50cm 校庭中央
白井市 池の上小	0.40	6月27日 地上50cm 校庭中央

白井以外は各市のホームページの先頭の学校の値

(2) 食品の放射線 ~ 給食の汚染の可能性 ~

国は、原発事故が発生後に基準値を引き上げました。それにも関わらず、お茶やほうれん草、牛肉など基準値を超えるものが流通しています。習志野市では、疑いのある牛肉が給食に出されてしまいました。

(3) 体内での放射線 ~ 福島では危険な状況 ~

福島の子どもの尿から、放射性物質セシウム134と137が検出されました。二つあわせて2.3ベクレルという7歳の子もいました。内部被曝に詳しい矢ヶ崎名誉教授は「大変危ない状況だ」と警告しています。(東京新聞7月14日)

2 積極的に対応している市や市民も

野田市	0.19 マイクロシーベルト(年間1ミリ)で対応
鎌ヶ谷市	校庭や園庭の表土を削る(予定)
相馬市	一つの小学校につき数十箇所計測 校庭の表土剥ぎ取り
白河市	市民に放射線測定器を貸し出し
柏市の有志市民	1万人署名を集める。しかし、市の具体策は見えない。
福島の有志市民	子ども達の検査をフランスの検査機関に依頼
白井市	3.8 マイクロシーベルト(年間20ミリ)で対応[野田の20倍] 給食については出荷制限のあるものは使用しない。

年間20ミリシーベルトという値は、文部科学省が暫定的に福島県に対して示した値です。それに対して保護者たちが強く反発しました。その結果、文部科学省は、年間1ミリシーベルトを目指すとして発表しました。国際放射線防護委員会(ICRP)は一般公衆の年間被曝限度を1ミリシーベルトと定めています。



子どもの健康を第一に考えて欲しいな

3 白井市議会は、放射線から子どもを守る意見を否決

白井市議会では、福島原発事故について国への意見書が出されました。しかし、採決の結果、二つとも否決されました。下表参照。

子ども達が被曝する放射線の基準値を年間20ミリシーベルトより引き下げる
 原発の撤退を決断し、期限を決めて原発をゼロにするプログラムを作る等

4 白井市でも子どもを放射線被曝から守ろう

下記の5つを行政や議会に望みます。

放射線が高い場所の詳細な調査

校庭の隅、学校の畑、プールサイドなど高いと思われる箇所の調査

給食の食材の調査

子ども達がどれくらい汚染されている食品を食べているか調査

放射線で汚染されている箇所の対策

汚染されている土の入れ替え、放射性物質の多い食品を使わない

子ども達の健康診断

行政が行わないならば、行う有志市民への支援



議員名	子どもの放射線 20ミリより引き下げ	期限を決めて 原発ゼロに	北総線 5%値下げ 補助金削除(*)	議会の会派名
岩田 典之		(退席)		結ゆう SHIROI
幸正 純治				
中村 繁太郎		×		
天下井 恵				
山本 武				市民自治ネットワーク
影山 廣輔				
福井 みち子				市民の声
松井 節男			×	
鳥飼 博志				共産党
永瀬 洋子				自治とまちづくり
多田 育民	×	×	×	会派まちづくり
古沢 由紀子	×	×	×	しろい政和
長谷川 則夫	×	×	×	
秋本 享志	×	×	×	
石田 信昭	×	×	×	
血脇 敏行	×	×	×	
谷嶋 稔	× (議長採決)	(議長)		
素田 久美子	×	×	×	公明クラブ
石井 恵子	×	×	×	
植村 博	×	×	×	
鈴木 泰彦	×	×	×	会派新風

...賛成 ×...反対 順不同

* 5%弱の値下げのために、白井や千葉県などが北総鉄道に毎年3億円を払います。
 5%弱値下げに反対し、その予算(補助金)を削除する提案が出されました。

